

第572回 理事会議事録

日 時 令和7年3月21日（金）

13:00～14:30

場 所 （一社）静岡県測量設計業協会会議室

一般社団法人静岡県測量設計業協会 第572回 理事会議事録

日 時 令和7年3月21日（金） 13:00～14:30

場 所 （一社）静岡県測量設計業協会会議室

出席者（理 事）服部剛明、牧田敏明、亀谷寧一、齋 秀之、竹内豊和
勝間田賢一、荒山 晃、豊田哲也、二村繁靖、望月良明
（監 事）宮島直久

理事10名が出席し、定款第32条第1項による定足数に達している。

議 長 定款第31条第1項の規定により、服部剛明が議長となる。

議事経過の概要とその結果

議 題

議題1 穴水町の災害復旧支援について

望月事務局長から、令和7年の支援について町のスケジュールや県土木防災課と穴水町派遣者とのやりとり、協力者リスト、路面災箇所の説明があり、理事会は、審議した結果、詳細が分からないため穴水町地域整備課へわかる資料の要求と4月に入りオンライン会議を開催してもらうこととした。また、県とは引き続き情報共有をはかり相談していくこととした。

議題2 令和7年度会長表彰について

望月事務局長から、永年勤続等職員会長表彰者と静測協図書館優秀作品会長表彰者の説明があり、理事会は、審議した結果、この提案を了承した。また、永年勤続等職員表彰の当日の受賞及び謝辞は、静岡コンサルタント(株)の渡部健太郎氏とし、優秀作品の当日受賞者は(株)東日の2名とした。後日、2社には事務局から正式文書を送ることとした。

議題3 令和6年度事業報告（暫定）について（兼 会長・専務理事下半期業務執行報告）

望月事務局長から、各支部の行事や各委員長からの修正・追記等を加えた説明があり、理事会は、審議した結果、これを了承した。

議題4 令和6年度収支計算書（暫定）について

望月事務局長から概要の説明があり、不備があるため4月15日の理事会で詳細な説明をすると要請があった。審議した結果、4月15日の理事会において説明してもらうこととした。

議題5 令和7年度事業計画案について

望月事務局長から説明があり、理事会は、審議した結果、これを了承した。

議題6 令和7年度収支予算案（暫定）について

望月事務局長から説明があり、理事会は、審議した結果、4月15日の理事会で再度説明してもらうこととした。

議題7 令和7年度社長研修会（10月8・9日水・木）について（その2）

望月事務局長から、ゴルフ場関係が決まれば、内容が固まると説明があり、理事会は、審議した結果、ゴルフ場の予約状況を今後報告してもらい内容を詰めることとした。また、次回の理事会までに講師依頼文を用意することとした。

議題8 全測連中部地区協連絡協議会に向けた意見交換会の開催について

望月事務局長から、2回の意見交換会の議事録の説明があり、連絡協議会事務局は会長が出ている事務局と決められたが、連絡協議会の内容から司会進行の継続性を求め愛測協危機管理委員会で行う様に提案した。また、年1回は顔合わせを行うこととし、この6月の参加者について相談があった。理事会は、審議した結果、二村災害対策委員長と望月専務理事の参加と、出席が可能であれば服部会長にも出席してもらうこととした。

議題9 事務局員の昇給と賞与について

望月事務局長から、昇給と賞与及び事務局就業規則の全面改定した理由について説明があり、理事会は、審議した結果、両者の意見を聞く必要から第三者委員会を設けてヒヤリングを行うこととし、具体的な内容については事務

局を通じて詰めていくこととした。また、昇給と賞与については保留とした。

議題 10 令和 6 年度「測量の日」記念キャンペーングッズについて

望月事務局長から、グッズの斡旋の説明があり、理事会は、協議した結果、購入しないこととした。また、令和 9 年度時は記念事業の当番県にあたるため、良いものがあれば、その時に購入することとした。

議題 11 県交通基盤部との意見交換の県側のまとめについて

望月事務局長から、県交通基盤部がまとめた課題について説明があり、理事会は、協議した結果、これを確認した。

議題 12 建産連 団体長の変更について

望月事務局長から、建産連の依頼について変更なしと回答する説明があり、理事会は、協議した結果、これを了承した。

報 告

1 土木積算 S・E 選定要領の改訂について

望月事務局長から、調査委員会と理事会で取り組んだ改訂は、県技術調査課に対して取り下げたことが報告された。

2 令和 7 年度地図教室開催校について

望月事務局長から、御殿場市立高根小学校の申込書受領と 6 月 12 日の開催、中部支部 2 校目となる静岡市立清水船越小学校から電話による申込みと、中部支部長と広報・経営改善委員会に伝えてあることが報告された。

3 令和 7 年 3 月から適用する設計業務委託等技術者単価について

望月事務局長から、関係資料が報告された。

4 第 6 回みらいの県土研究会の開催について (2 月 21 日)

望月事務局長から、開催資料等が報告された。

- 5 第2回ふじのくに i-Construction 推進支援協議会（3月10日）について
望月事務局長から、次第と回覧資料から報告がなされた。
また、荒山理事からは、土木施工管理技士会の中に DX 推進委員会が出来、建設コンサルタントと ICT や AI について一緒に何かできないかとの相談があり、県未来まちづくり室を通すように依頼したので、今後、県から話があるかもしれないとの報告がなされた。
- 6 島田土木「島田工業出前講座」報告（2/18 大鐘測量設計㈱）について
望月事務局長から、出前講座報告資料が報告された。
- 7 掛川市災害時応援渠底締結事業所連絡会（一般事業所部会 2月26日）について
望月事務局長から、二村災害対策委員長と景山委員の出席が報告され、二村理事からは佐川急便の講演について報告された。
- 8 「測量設計業」の PR について（その2 進捗状況）
望月事務局長から、進捗状況と追加で創立 50 周年記念誌と静測協 2025 新年号、令和 4 年 1 月版安全作業マニュアルの 3 本を今後掲載することが報告された。
- 9 令和 7 年度 国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定について
望月事務局長から、資料が報告された。
- 10 道路陥没に伴う路面下空洞調査に関する現地説明会について
望月事務局長から、新聞記事等から報告がなされた。
- 11 地方自治法施行令による随意契約額の見直しについて
望月事務局長から、(株)富士測量事務所の杉山氏からの資料により報告がなされた。
- 12 中部地区協議会の用地測量研修と用対連の講師等について
望月事務局長から、中地協の活動について資料により報告がなされた。
- 13 令和 6 年度 慶弔費について
望月事務局長から、資料に基づき報告がなされた。

令和6年度・令和7年度行事予定

行事予定表に基づき、主なものが報告された。

その他

- ・ 県工事検査課の移転について
- ・ 委託業務本庁検査に係る中間検査の運用（試行）の廃止について
- ・ 日本国際博覧会開催に伴う警備協力について（要請）
- ・ 中部地方整備局による南海トラフの初動強化について
- ・ 国土交通省の測量業務の諸経费率引き上げについて
- ・ 東海大学客員教授長尾年恭氏による講演について
- ・ オープンデータと3次元技術で地域課題に取り組む杉本直也氏について
- ・ 防災分野でのDXとしての遠隔災害支援システム構築について
- ・ 国土交通省の測量士となる機会拡大について
- ・ 南海トラフ地震の応急対策職員派遣制度AP策定について
- ・ 公共工事設計労務単価について
- ・ 建設業の中堅世代の減少について
- ・ 強靱化中期計画の策定指針等について

以上の13件について、事務局長から報告された。

以上の議事が正確であることを証するため、定款第33条第2項の規程により、出席した会長と監事が記名押印する。

令和7年3月21日

会 長

代表理事 服部 剛明 ⑩

監 事 宮島 直久 ⑩